



## 目次

|                  |      |
|------------------|------|
| 北塩原村議会議員あいさつ…    | 2～3  |
| 第4回臨時会について……………  | 4    |
| 第5回定例会について……………  | 5    |
| コラム 議会の役割・議員の役割… | 6    |
| ズバリ!村政を質す……………   | 7～15 |
| 議員活動報告・編集後記…………  | 16   |

## 議会だより

## 6月議会



初夏の校庭を  
風のように  
駆け抜ける

16 ページをご覧ください

議長就任挨拶

議長 小椋 眞

私はこのたび、議員改選後の初議会におきまして議長に選出され、議決機関である議会の長としてその責務の重さに身の引き締まる思いであります。

さて、地方自治体を取り巻く環境は近年大きく変化しており、今まで以上に責任ある議会活動が求められています。二元代表制のもと議会は行政に対する監視機能をしっかりと果たすことはもちろんのこと、住民の皆様の負託に応えるべく村政発展のために誠心誠意努めてまいりる所存であります。

今後とも、村民の皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。



執行・議会、両輪のごとくとよく言われます。

私はその一つの歯車となり村民の幸せ、  
村政の発展のため頑張ります。

小  
椋  
眞  
議  
長  
(蛇  
平)



『村民の声を村政に！』をスローガンに、  
村民目線で議員活動を行って参りました。

有言実行、今後ともよろしくお願いいたします  
ます。

五十嵐 正典 副議長  
(大久保)



『村民の声を村政へ』をモットーに、  
村民の安全と希望を構築するため皆さんの声  
を行政に届けます。

佐藤 善博 議員  
(桧原)



76 歳です。健康管理をちゃんとやって 80 歳  
まで頑張ります。応援よろしくお願いします。

小  
椋  
元  
議  
員  
(早稲沢)



村民の皆様にはいつも大変お世話になっております。  
この度、小椋議長新体制のもと新しい四人の議員も入  
れ、北塩原村議会がスタートし、議会も生まれ変わりました。  
後になってあの 10 名の議員に任せてよかったと思っていた  
だけのように初心に戻り一生懸命がんばりますので、ご助  
言・ご指導よろしくお願い申し上げます。  
小さなことでも、なんなりと申し付けてください。

若林 幸子 議員  
(剣ヶ峯)



村議会新体制が決定!!

# 村発展のために全力で臨む!!



遠藤 祐一議員(北 山)

村民代表者として、地域住民のみなさまの声を反映し住みよい村づくりを目指す、

- ・当村に住みたい地域
- ・所得向上につながる施策提言活動
- ・安心な子育てができる環境作り活動
- ・空き家対策事業を提言
- ・安心・安全・災害のない村づくり

・行政施策が村民主体で行われているかをしっかり監視

以上を住民みなさまの声として議員活動することが託された職責であることを念頭に邁進していくと共に、監査委員や各委員会を通し活発な議員活動を行いますのでいつでもお声かけをお願いします。



蟹巻 尚武議員(大 塩)

この度の北塩原村議会議員選挙に際しましては、心強いご推薦を頂き、またご懇篤なる激励を賜り、誠に有難くお礼を申し上げます。

四期目を迎えるに当たりましては、ご支援賜りました民様のご期待にお応えすべく、政治の道を志した初心に立ち返り、北塩原村のよりよい明日の実現を目指して、これまで以上に労を惜しまず愚直に働き通す決意でございますので引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。



伊藤 敏英議員(北 山)

村民の皆様、伊藤<sup>としい</sup>敏英と申します。

三ヶ村が合併して65年、一時期を除いて人口は減少をし続け今やその半分の人口になってしまいました。存亡の危機です。

人口減少を食い止め、単独の村として生き残るため様々な提案をしていきたいと思っています。ご意見をお聞かせください。



伊関 明子議員(剣ヶ峯)

日本一安心・安全な村の実現のため、

- ①防災・減災のマニュアル作り（各行政区、消防、学校、各団体にまで役割分担を明確にする）
- ②国のスマート・コンパクト構想（第二の市町村合併）に向けて先手を打ち、村民が豊かに自立できる村づくり以上を中心にごんばりますのでなんでも声をかけてください。



池田 睦宏議員(蛇 平)

1. 5G通信を見据えた魅力を可視化した観光プロモーションや多言語を含む旅行者向けの発信強化により、これからのニーズにマッチした観光の底上げ
2. 探勝路や施設の継続的な管理運営を含む自然環境管理を進め、農村部の獣害対策や探勝路を利用する旅行者や住民の安全を確保していく
3. 人口減対策への取り組み、裏磐梯エリアの住宅建設や居住推進から地元企業の人材難の解決、起業のサポートや産業の創出を進める
4. 観光地におけるデジタル化の推進とネットワークを活用した旅行者と住民の防災対策の推進

以上頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

## 第4回 臨時会

# 議長・副議長および各常任委員会委員等が決定！

平成31年4月30日、北塩原村議会議員選挙後初の議会となる第4回臨時会が開催されました。

議会ではまず、小椋元臨時議長のもと、議長選挙が行われました。

選挙結果は

○小椋眞議員 9票

○小椋元議員 1票

となり小椋眞議員が議長へ就任しました。

続いて、副議長選挙が行われ、指名推薦で五十嵐正典議員が副議長へ就任しました。

また、各委員会など新体制も決定しました。

(下記参照)

### 委員会とは

委員会は、議会で審議される案件に専門的知識や経験を生かし事前審査を行うための審議機関です。本村では議会での自主的な活動を推進するため、常任委員会、議会運営委員会、特別委員会を設置しています。常任委員会では予算内容の確認や行政の進行状況の確認及び、陳情や請願の審議等も行っています。

### 総務文教常任委員会

委員長

若林 幸子

副委員長

伊藤 敏英

委員

蟹巻 尚武

池田 睦宏

小椋 眞

所管する課

・総務企画課、税務課、  
出納室、教育委員会

### 経済厚生常任委員会

委員長

佐藤 善博

副委員長

小椋 元

委員

遠藤 祐一

伊関 明子

五十嵐 正典

所管する課

・住民課、農林課、  
建設課、商工観光課

### 議会運営委員会

委員長

佐藤 善博

副委員長

若林 幸子

委員

伊藤 敏英

五十嵐 正典

(委員会の内容)

年4回行われる定例会  
の運営を検討・決定する。

監査委員

遠藤 祐一

### 議会広報調査特別委員会

委員長

伊藤 敏英

副委員長

若林 幸子

委員

遠藤 祐一

池田 睦宏

小椋 眞

(委員会の内容)

議会広報に関する調査等

その他議会選出役員等

喜多方地方広域市町村

圏組合議会副議員

小椋 眞

(株)ラビスパ取締役

小椋 眞

若林 幸子

北塩原村社会福祉協議  
会理事

五十嵐 正典

第5回  
定例会

令和元年6月7日～12日の会期で、令和元年第5回定例会が開催されました。議案及び審議結果は下記の通りとなりました。

審議内容

○除雪ドーザ購入契約について

- ・規格 14t級
- ・契約相手方 コマツ福島株式会社
- ・会津若松支店
- ・支店長 宮野 義和
- ・契約金額 2024万円

○令和元年度北塩原村一般会計補正予算（第2号）

主な補正内容

- ・企画費 159万6千円
- ・村民の翼実施のための補助金等

○議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

- ・改正後の報酬額
- ・議長 30万8千円
- ・副議長 24万9千円
- ・常任委員長及び議会運営委員長 23万4千円
- ・議員 22万4千円

○村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

- ・3月定例会において、一般会計予算案否決等の不信を招いたため、村長及び副村長の給与の一部を減額するもの。
- ・村長 1ヶ月 20%
- ・副村長 1ヶ月 10%

○北塩原村選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について

（下段に詳細を掲載）

会議に付した議案と審議結果

| 議番   | 員号 | 件名                                   | 議決年月日   | 審議結果 |
|------|----|--------------------------------------|---------|------|
| 議第27 | 案号 | 除雪ドーザ購入契約について                        | 元 .6.7  | 原案可決 |
| 議第28 | 案号 | 北塩原村介護保険条例の一部を改正する条例                 | 元 .6.12 | 〃    |
| 議第29 | 案号 | 令和元年度北塩原村一般会計補正予算（第2号）               | 〃       | 〃    |
| 議第30 | 案号 | 令和元年度北塩原村介護保険事業特別会計補正予算（第1号）         | 〃       | 〃    |
| 発第6  | 議号 | 北塩原村選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について           | 〃       | 指名推薦 |
| 意見第1 | 書号 | 新たな過疎対策の制定に関する意見書                    | 〃       | 原案可決 |
| 発第7  | 議号 | 議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 | 〃       | 〃    |
| 議第31 | 案号 | 村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例           | 〃       | 〃    |

選挙管理委員会

委員・補充員選挙

選挙管理委員の任期満了に伴い、新たな選挙管理委員の選挙が議会で行われ、全会一致で選出されました。新たな選挙管理委員および補充員は左記のとおりです。

選挙管理委員

- ・齋藤 将（北山）
- ・高橋 善美（大塩）
- ・小椋 政廣（早稲沢）
- ・成瀬 和夫（蛇平）

補充員

- ・内海 義和（北山）
- ・赤城 幸二（下川前）
- ・金子 二三（松原）
- ・高橋 光秋（秋元）



平成31年4月30日より  
新たな体制で北塩原村議会  
がスタートしました。  
村政を思い、意欲ある  
新たな4名の議員も誕生し、  
多くの声を届けられるよう  
に活動しております。  
ここでは、コラムとして  
改めて議会の役割・議員の  
役割を紹介し、村議会への  
理解を深めてもらうことに  
、議会を身近に感じてい  
ただけるようにご紹介させ  
ていただきます。

## コラム 議会の役割・議員の役割

### 1. 議会と議員

議員とは憲法93条2項に  
「地方公共団体の長、その議  
会の議員及び法律の定める  
その他の吏員は、その地方  
公共団体の住民が、直接こ  
れを選挙する」とあります。

地方公共団体には長と議  
員という住民代表が2つ存  
在しており、（二元代表制）  
議会は住民を代表する公選  
の議員をもって構成される  
地方公共団体の意思決定機  
関です。

### 2. 議員と長の関係

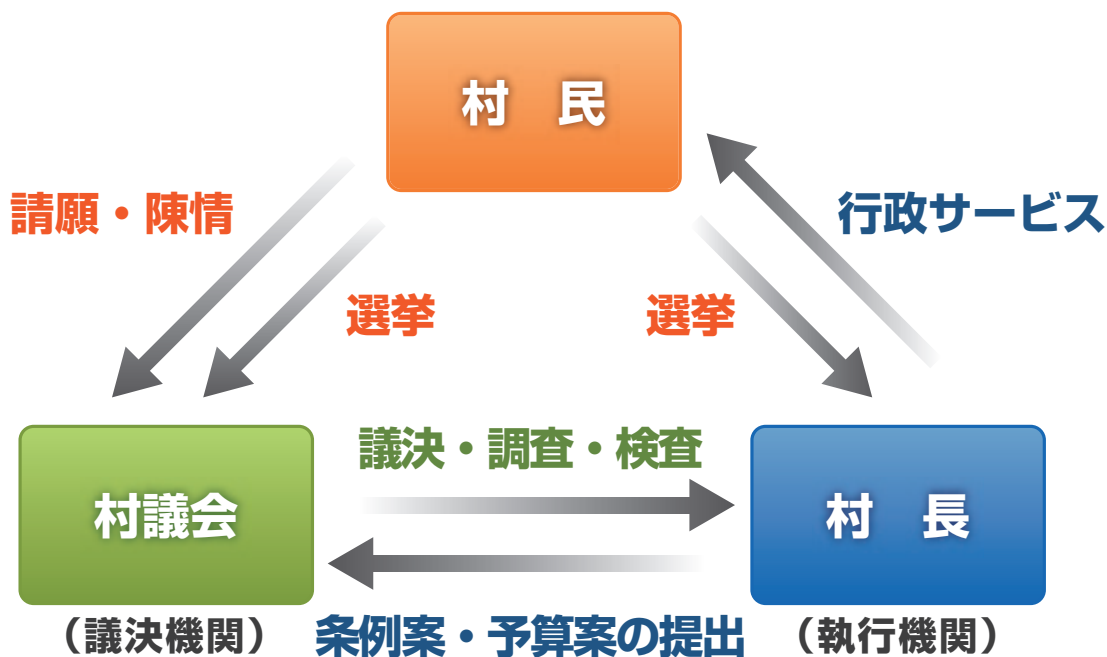
地方公共団体の長は、議  
会の議決を経た上で諸々の  
事務を執行します。従って、  
村長、議会はそれぞれ独立  
し、その権限を侵さず、侵  
されず、対等の立場と地位  
にあります。



議員および村長は村民か  
らの直接公選であることか  
ら、お互いに対等・並列で  
あり、両者は直接、住民に  
対して責任を負うことにな  
ります。

### 3. 議会の使命

議会の主な使命として、  
①地方公共団体の具体的政  
策を最終的に決定すること。  
②議会が決定した政策を中  
心に行う執行機関の行財政  
の運営や事務処理ないし事  
業の実施が、すべて適法・  
適正に、しかも、公平・効  
率的に、そして民主的にな  
されているかどうかを判断  
し監視することであり、行  
政施策や予算について審議  
を行うと共に、適切に実行  
されているかを監視する役  
割を担っています。





七夕・さくら幼稚園

## 1 伊藤 敏英 議員 . . . . . 8

○人口減少対策について

## 2 佐藤 善博 議員 . . . . . 9

○「オリンピック出場等を目指す人材育成」について  
○「結婚祝い金、出産祝い金、子育て祝い金支給など未来の担い手の支援」について

## 3 小椋 元 議員 . . . . . 10

○村長の政治姿勢について  
○登山道・トレッキングコースの現況について  
○人口減少対策について

## 4 池田 睦宏 議員 . . . . . 11

○旅行者の利便性を考えた探勝路の管理のあり方について  
○インバウンド旅行者の受け入れ整備の推進について

## 5 伊関 明子 議員 . . . . . 12

○期日前投票について  
○防災・減災対策について  
○公共交通機関について

## 6 若林 幸子 議員 . . . . . 13

○除雪の臨時職員について  
○人口減少対策としての住宅整備の進捗状況について  
○村営住宅について  
○社協について

## 7 蟹巻 尚武 議員 . . . . . 14

○北塩原村内における景観保全対策及び安全対策について  
○北塩原村内における路線バスの現状について

## 8 五十嵐正典 議員 . . . . . 15

○バス路線（喜多方 - 裏磐梯線）について  
○農業公社設立について

ズバリ!!

## 村政を質す

10人の議員が一般質問

一般質問とは？

議員が村の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等についての所信や疑問をたずねることで、報告や説明を求めることをいいます。

## Q. 村長および行政に人口減少に対する危機感はあるのか

## A. 少子高齢化は村にとっても大きな影響を及ぼすと危機感をもっている



伊藤 敏英

### 人口減少に対する危機感と対策について

**問** 村長および行政全体に人口減少や少子高齢化に対する危機感はあるのか。小椋村政はこの問題についてどのような対策をとってきたのか。

#### 答（村長）

人口減少対策については第四次、第五次総合振興計画やひと・まち・しごと総合戦略、過疎地域自立促進計画におきまして具体策を位置づけ、村づくりの目標の一つとして進めてきたところです。人口減少が続いた場合の影響は経済の縮小や担い手不足、医療福祉・介護の給付の負担バランスを欠くなど大きな影響を及ぼすものと危機感をもっています。

**問** 小椋村長就任時は3355人いて、約600人も減少している。この現実を村長はどのように考えるか。

#### 答（村長）

私が就任して以来、今年度まで350人、年間50人ぐら

いずつ減少しているのが現状です。これは喫緊の課題であり、様々な計画を充実させ、交流人口や関係人口の拡大に取り組んでまいりました。なお、今も危機感をもっています。人口が減少しても安心して暮らせるような地域づくりに専念して参りたいと思っています。

**問** 村長は最近、工場誘致に

#### 答（村長）

対し触れることがないが具体的にどうやって雇用をつくるのか。

チョウザメの事業では民間の会社で2名が勤務したという経験があります。また、山塩組合では、増産し雇用の拡大にも頑張っているところですが、大企業の誘致を進めましたが、人材確保が難しく一時中断しています。村でも雇用の補助もありますので今後とも雇用には力を入れていきたいと思っております。

**問** 国の人口が減り続けているのだから諦めたのでは危機意識がない。いざとなれば国や県の力に頼ろうという他力依存で、この厳しい現実を直視せず自らの力でこの難局に立ち向かうおとしない、

傍観者でいたから村の人口は減少したのではないか。

#### 答（村長）

人の流れを理解し、交流人口の拡大により移住者が出てくることや、若者が働ける場所があれば歯止めがかかるのかなど期待を持っていますが、危機感を持って対応してまいりたいと考えています。

**問** 村営住宅について、国の補助のため制約があるわけだがそのために家賃が急に倍になるなど、大好きな北山に住めなくなり他地区へ家を建てざるを得なくなっている。人口減少を促進する住宅となってしまうのだから補助金を返還するなどして村で入居条件を設定出来るようにすべきではないか。

#### 答（村長）

今ある住宅につきましても、どんなことが村でカバーできるのか、例えば高額になってもその分を村で負担し入っていた方法もこれから検討したいのもう少しお時間を頂きたいと思っています。

**問** 国の地方創生という政策が続く中、村の人口減少の現

状を明らかにし、全村民、全職員のありったけの知恵と工夫を結集して、この村の存亡の危機に立ち向かうべきである。この危機を共有し、具体的な行動を起こすべく村民会議を組織するべきではないか。

#### 答（村長）

あらゆる人に集まってもらって会議をつくるということとで約束申し上げたいと思います。



佐藤 善博



## Q.2020年オリンピックへ小中学生、高校生を含んだ子どもたちを村で観戦・参加させるべきである

### A. 観戦・参加は難しい 村へのオリンピックの指導者誘致などに取り組んでいきたい

#### 「オリンピック出場を目指す人材育成」について

**問** 3期目就任時に掲げた方針の中で、オリンピック出場等を目指す人材の育成とあるが、現在見込みのある選手は何人いるか。

#### 答（村長）

現在の展望として、オリンピックや世界選手権等、国際的に注目度が高い大会への出場が有望視される選手は厳しい状況で出場した選手はいませんが、多世代で県大会はもとより、東北大会全国大会へも出場しており、今後益々の期待をしています。

**問** スポーツ分野にはどれぐらいの予算を配分・執行したのか伺う。

#### 答（公民館長）

平成28年度は予算額400万円、平成29年度は393万9千円、平成30年度は391万6千円、平成31年度は372万円で見込みですが執行額358万円です。

**問** 本村は他町村にはない支援を行っており、これは褒めるべきだと考えるがその後のフォローが来っていない。オリンピックまであと1年しかなく村民との約束は果たせていない。副村長や教育長は政策の状況について助言・進言等はしたことはあるのか。

#### 答（教育長）

本村の生涯スポーツ及び競技スポーツの現状については、村長と情報共有を行ってあります。また、育成という意味ではオリンピックや世界大会等が決してゴールではなく、人材育成として支援をしていくという事で認識しております。

**問** 一つ提案として、来年のオリンピックに小中学生や高校生などを村で全額負担して招待してはどうか。

#### 答（村長）

約束はできませんが検討します。また、台湾との交流の関係で中学生がバドミントンや卓球に一生懸命に取り組んでいるかと思えます。オリンピックなどを呼び育ててもらうなどの予算は計上して行こうと考えております。

#### 祝い金を含む未来の担い手の支援について

**問** 結婚祝い金、出産祝い金、子育ての祝い金支給など、未来の担い手の支援について伺う。また、村長が3期目に就任してからの支給状況を伺う。

#### 答（住民課長）

結婚祝い金は、平成28年度は6件60万円。平成29年度は9件90万円。平成30年度は5件50万円です。次に出産祝い金ですが、平成28年度は12件180万円。平成29年度は13件170万円。平成30年度は11件170万円です。子育て祝い金については、平成28年度は64件680万円。平成29年度は57件655万円。平成30年度は49件540万円です。なお、平成31年度は参考までに申し上げますと56件565万円となっております。次に転入状況についてですが、平成28年度は86世帯の転入世帯。うち村営住宅の入居が3世帯。平成29年度は61世帯うち村営住宅は7世帯。平成30年度は64世帯のうち村営住宅が6世帯となっております。

**問** 未来の担い手に対して、各種祝い金の制度は他の自治体でもやってない良いことであるが、その先の対策が来っていない。例えば村営住宅の家賃についても急に値上がり言われても住民を困らせ、転出させる原因となっているのではないのか。家賃の通知はいつ行っているのか。また、値上がりしてしまう場合の支援策はないのか。

#### 答（建設課長）

公営住宅家賃の翌年度の通知については今年は3月になり、かなり遅くなり大変申し訳なく思っております。今年度は12月中には通知したいと考えています。また、住宅用地の整備を進めており、今年度は詳細設計をし、その後、買収・補償、そして道路・上下水道整備を進めていきたいと考えております。

**問** 計画では5年かかるようだが、少しでも人口減少に歯止めをかけるためにも、せめて1年前倒し、4年で実施すべきではないか。

#### 答（村長）

5年で完成する計画を4年で完成するという事をお約束いたします。

**Q. 村長の任期が残りわずかなのに、町村会長に就くには責任感がないのではないか**

**A. 他町村の首長が改選等あり推薦された任期をまっとうしていきたい**



**小 棕 元**

**村長の政治姿勢について**

**問** 県町村会長に就任したわけだが、会長の任期は2年とある。村長は4選を考えているのか。

**答（村長）**

来年9月任期満了の村長選挙出馬につきましては、村の第五次総合振興計画に沿った事業を展開し諸問題の解決に全身全霊をもって責任を全うしたいと考えております。後援会の皆様、私を支援していただきました皆様にご理解とご協力がいただければ前向きに検討して参りたいと考えております。

**問** 前高橋村長の時から、会長が回ってくるのが早いと思われるが、順当に順番が来て今回の就任となったのか。

**答（村長）**

会津耶麻町村会から推薦という事で、他の町村では選挙などがあり受けられない状況があり、今回私が推薦される事となり、お受けしました。

**問** 村長は3期で終わるといふ風に話していたわけだがその点はどう考えているのか。

**答（村長）**

このような状況にあった中で、福島原発事故からの復旧再生、さらには地方財政の健全化など一時も止めることはできないなという判断をし、今回、町村会の会長を引き受けました。

**登山道・トレッキングコースの現状について**

**問** 3月議会でも質問をしたが改めて村内の登山道・トレッキングコースの通行止め箇所の数と解除予定を問う。

**答（商工観光課長）**

現在の通行止めの探勝路は、デコ平自然ふれあい探勝路の早稲沢から布滝までの区間、早稲沢浜探勝路、県の整備した裏磐梯野鳥の森探勝路で、野鳥の森探勝路については県へ要望を行ってきましたが原型復旧には数億円規模になり、コースや工法の見直しなど検討していくとのことですが解除の見通しはたっておりません。

**問** 橋が流れた年に質問をした際にはすぐ修復するという話だったが、結局、県の許可だの測量だの言い訳ばかりである。今年は修復の予算計上をしているのか。

**答（商工観光課長）**

許認可の見直しもつきましてので今年度予算化し、工事の発注を行ったところであります。



**人口減少対策について**

**問** 人口減少対策として、工場誘致や住宅用地開発など村の努力はわかるが結果、なんの成果も出ていない。出来るかわからない政策ではなく今住む人がそれなりにいい暮らしをして、いい村だと宣伝して、人が減らないような対策を行うべきである。もう少し別な方法を考えるのに力を尽くしてはどうか。

**答（村長）**

ひと・まち・しごと総合戦略に基づいて、地域の特性を生かし、知恵を出し合って人口減少に歯止めをかけていきたいと思っております。共助・公助の理念の原点に返り共有しながら取り組んでいきたいと思っております。

**問** 人が減れば空き家も増え、土地も荒れていく。その辺の対策について伺う。

**答（村長）**

空き家バンクの設置など行い、ここに住んでみたい人へのセールスも一つの方法と考えております。関係団体と協議しながら対策を進めてまいります。

池田 睦宏



## Q. 裏磐梯が目指す観光の未来を どのように考えるか

## A. 先人が残した自然の魅力を 全国的に発信し、守っていききたい

**旅行者の利便性を考  
えた探勝路の管理の  
あり方について**

**問** 探勝路上にある設置構造物の維持管理、眺望の確保など村の取り組みを伺う。

**答（商工観光課長）**

通常の維持管理については裏磐梯観光協会へ委託し、3名の作業員により点検、倒木処理、草刈等の管理を行っています。修繕が必要な個所については簡易的な修繕は通常の維持管理の中で行っており、それ以外については管轄するところで対応を行っています。

また、ビューポイントの確保については環境省、福島県、村が連携して取り組み、今年度も新たなビューポイントの掘り起こしや県による弁天沼の展望台再整備等が計画されています。

**問** 桧原湖周遊と7つの探勝路を歩いてきて思ったが、きちんとした予算の中で継続的な管理がなされておらず、利用者の減少につながっている。それぞれの管轄があると思うが、ビューポイントの確保、または

原状復帰について、村では観光協会にいくらかで委託し、どこまでの裁量があつて管理できるのか。

**答（商工観光課長）**

敷地の対策、ビューポイントの掘り起こしについては環境省、県と一体となつて調査し検討していくこととなっております。探勝路整備について、観光協会への委託料は約480万円になっていきます。業務は通常の管理作業、草刈とか簡易的な修繕が内容となっております。

**問** 管轄の違いで村独自で出来ない部分もあるかと思うが、環境省や県、振興局などに働きかけは行っているのか。

**答（村長）**

何年も前から五色沼周辺の環境整備、そして眺望確保というところで何回も行ったりしておりました。環境省や林野庁の土地でありますから、グリーン復興という特枠をつけていただき、今年度調査や、手入れを行ったという情報が来ましたが、今後とも、地元の要望を県、国を通して要望してまいります。



**インバウンド旅行者  
の受け入れ整備の推  
進について**

**問** 裏磐梯が目指す観光の未来とはどんなものか。また、村としてどう取り組むのか考えを伺う。

**答（村長）**

磐梯山が噴火し130年がたち、先人たちが植林をし、今の緑豊かな裏磐梯が誕生しました。その関係そのものを生かさなければいけないと考えております。

そのため、あらゆる人に来てもらえるよう、今ある自然の魅力を全国的に発信して守っていききたいと考えております。

**問** 県などはインバウンドに関する助成が3年目で最終年度を迎えているわけだが、村としてどの国の方々を対象とし、どんな取り組みをおこなっているのか。

**答（商工観光課長）**

ターゲットについてはまだ決まっていませんが方向性として観光協会などと検討していく必要はあると考えています。現在の取り組みについては外国人向けのパンフレットの製作や看板・案内板整備の計画策定するための費用を予算化しております。

**問** オリンピックなどを機にそういった機運を醸成しているという中でなぜ村はなにも行動を起こさないのか。

**答（村長）**

台湾へはトップセールスで行き、今回定期チャーター便が就航しました。村では交流事業などを通して誘客を進めております。

## Q. 次年度以降も裏磐梯地区の期日前投票所の設置を実施していくべきである

## A. 選挙管理委員会と調整をしながら、なるべくこう続けていけるよう検討する



伊関 明子

### 裏磐梯地区の期日前投票の実施について

**問** 裏磐梯地区における期日前投票の実施について伺う。

**答（総務企画課長）**

地区の要望を受け、選挙管理委員会で検討した結果、7月に予定されている参議院議員選挙、そして11月に予定されている県議会議員選挙において、期日前投票期間中の2日間、裏磐梯地区で試行することとなり、今回の予算の補正を提案させていただきました。

**問** 今回の補正予算案をみると、それぞれ2日間のみ予算となっているが、投票率によつては、今後実施しない判断が出る可能性もある。しかし、今後とも、本庁と同様に実施すべきと考えるが村長の考えを伺う。

**答（村長）**

裏磐梯地区の期日前投票ですが、実施について選挙管理委員会へ申し上げましたが、試行が1年で終わるという事ではありません。住民の声を聞きなるべく続けたいと思います。

**問** 期日前投票も経費がかかるが、将来を考えると、必ず実施していくべきであるが考えを伺う。

**答（総務企画課長）**

今回の7月の参議院議員選挙について、2日間で18万5千円になっておりますので、1日約9万円となります。

期日前投票は選挙制度の例外措置で、投票率の向上に寄与するものと考えますが、確実に安全な執行を考えますと十分な検証をしていきたいと考えております。

### 防災・減災体制についてマニュアルの策定や関係機関との連携について

**問** 磐梯山噴火時の村民と観光客の安全確保のマニュアルについて、関係機関と連携して実行可能か伺う。

**答（住民課長）**

磐梯山に対する防災体制の組織としては、県を事務局とし、構成される磐梯山火山防災協議会と、猪苗代町を事務局とし、猪苗代町、磐梯町、北塩原村で構成する磐梯山火

山防災連絡会があり、万が一に備えております。当村においては平成29年12月に改訂した防災マップにより被害の想定範囲や避難所などを示したほか、関係機関との連携を取ることにしておりますが、今後、県で改訂中の避難計画をもとに、具体策を策定する必要があると認識しております。

**問** 裏磐梯にマイクロバスが1台配置してあったかと思うが、運転責任者はどうなっているのか。また非常時はどのように扱うのか。

**答（住民課長）**

非常時における住民等の輸送等につきましては、村のマイクロバスだけでは現実的に足りないということもありまして、今後の検討課題になつてくることだと思えます。

### 裏磐梯―喜多方間、路線の確保維持の現状について

**問** 6月11日時点での進捗状況を伺う。

**答（村長）**

3月26日にバス事業者へ再度要望を議会の代表の方と共に行き協議しました。そして、公設民営方式によるバス車両の更新が図ることができれば運航継続も検討してもらえるということになり、村では関係する喜多方市、猪苗代町との協議および国庫補助事業導入に向けた国土交通省との協議、計画変更に関する県との協議を進めております。現段階では協議が進んでいるため路線廃止の届は見送るという事で11月以降も継続する予定です。



若林 幸子



## Q. リースの検討も含めも一日でも早く住宅を整備すべきである

## A. 国や県の補助以外の検討も早急にすすめたい

### 除雪職員の体制について

**問** 除雪作業員の契約内容を伺う。

### 答（建設課長）

除雪の臨時職員は平成30年度は10人で契約期間は12月1日から翌年の3月31日まででした。賃金は年齢や経験により若干異なりますが、1日あたり9,700円から1万1,200円となっております。

**問** 経験が浅い者が、残業代で得をしてしまう状況と聞いた。また、主任手当がいつまでたっても200円と聞いたがこのままでいくのか。

### 答（建設課長）

経験が浅い者に対しても一生懸命やっていたらいるので、残業についても認める方向で考えています。主任手当については妥当な額か今後検討していきたいと思っています。



### 人口減少に対する住宅整備の進捗状況について

**問** 人口減少対策も、最初聞いたときは良いと思ったが、年々進まずもう、今年、令和元年になってしまった。前の質問では5年が4年と言っていたが出来るだけ早く、進めるべきである。

### 答（村長）

住宅団地及び若者住宅の整備については、平成27年に北山と村西線を設定させていただきました。その後、用地の買収などに時間を要し、また、寺ノ前も用地の確保に少し時間がかかりました。その後、様々なご意見を頂き、制限のかからない、国や県補助金なしではできないかということも検討してまいったところ

ございます。昨日の答弁にもありました1年早めたいというふうに考えており、相談してまいりたいというふうに思っております。

**問** 住宅整備について、リース方式について検討すると以前にあったがその後は決定したのか。

### 答（建設課長）

平成30年度、実際のこのような方法がいいかという事で検討始めましたが、本当にリース方式で良いかというところまでは結論は出ておりません。

**問** 裏磐梯地区には住宅を整備する計画はないのか。

### 答（建設課長）

裏磐梯地区にも住宅の必要性は感じております。今遅れている北山地区の住宅整備も含めて前向きに検討していきたいと考えております。

### 村社会福祉協議会の職員について

**問** 社会福祉協議会の職員について、正職員が15名、臨時

職員が8名と聞いたがこれは初めからの人数か。

### 答（住民課長）

社会福祉協議会は相当な歴史があり、設立当初は職員2名でした。その後、介護保険制度等が始まり、また、村でデイサービスセンターの指定管理という形で社会福祉協議会へ委託しております。また、ホームヘルプサービスの充実を図ったりなどをし、職員の数が増えてきたという経緯です。

**問** 社会福祉協議会の職員雇用について、付度があるのではないかと、この言葉が聞こえたが、その事実はないのか。

### 答（村長）

社会福祉協議会の人事に付度があるんじゃないかという事ですが、それは一切ございません。



## Q. 村の総合振興計画に基づき住環境整備のため村で施設を買い取るべきである

A. 村で出来る対応は限界がある。他の動きがあれば、地区の要望に沿って進めていきたい



蟹巻 尚武

### 大塩地区にある廃業施設の美化対策について

**問** 大塩地区における廃業施設の美化対策と安全対策はかねてより強く地域要望をしているところであるが進捗を伺う。

#### 答（総務企画課長）

まず、建物に対する安全対策は所有者、権利を有する方が対処するという事が原則です。平成29年の9月に大塩地区の各行政区及び団体等から要望があり村として検討して参りました。村が土地建物を取得し事業を実施する場合、権利関係がクリアできるか、また、費用対効果が見込めるかどうかが第一段階です。現状では当該施設の利害関係が複雑であり費用対効果の面でも整理するべきことが多々あると認識しています。

**問** この施設は廃業して20年以上放置状態になっており、廃墟化が進み、景観はもとより、住民の安全を脅かす状態が顕著に続いている。地区からの要望は過去に3年続いているが、村では一向に対応していない。この状況について

村長はどう考えるか。

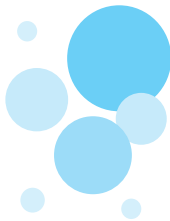
#### 答（村長）

土地建物に関する要望なので登記事項の調査を行いましたところ、所有者が有限会社であることや、債権回収業者の権利が設定されている事などが判明しました。安全対策については、債権回収業者に申し入れをしたところです。

**問** 費用対効果よりも安心安全、景観美化のほうが大切である。地区の住民、議員と膝を詰めて話し合い進めるべきではないのか。

#### 答（村長）

状況は重々わかっており、解決できるところから最大限の努力をしていくことをお約束申し上げます。



### 北塩原村―喜多方駅間の路線バスについて

**問** 喜多方北塩原線の路線バス廃止計画に伴う当村の進捗を伺う。

#### 答（総務企画課長）

公有民営方式によるバスの更新という計画の協議が現在進行中です。そのため、バス事業者から、この11月末の廃止届の提出については見送るとの連絡がありました。そして村では、福島県生活交通確保維持計画の計画の変更手続きを県と進めているという状況です。

**問** 11月の廃止は見直しという事で先ほど話があったが、ダイヤについての検討は進んでいるのか。

#### 答（総務企画課長）

県での承認その後、国交省の承認手続きが9月末ごろまであります。村としては県の計画変更が承認されましたらバス業者とダイヤ等について協議をしたいと考えております。

**問** 車両代が総額で6,891万円と全員協議会で説明を受けているがそれぞれ1台いくらののか。

#### 答（総務企画課長）

大型バス1台約3,100万円で、マイクロバス1台につき約1,260万円として試算しております。



## 五十嵐 正典



## Q. 基幹水路の今後の維持管理を今後、 村もしくは公社でやっていくべきである

## A. 年間の予算の配分も考えながらどういう 施策を講じられるのかも検討していきたい

### バス路線（喜多方・ 裏磐梯線）について

**問** 去る3月26日に磐梯東都バス本社に行つて話をしてみたわけだが、その後の進捗を伺う。

### 答（総務企画課長）

3月26日以降、喜多方市、猪苗代町を中心としまして協議を行つてまいりました。現在は協議進行中であることから、11月末の路線廃止届の提出については見送るという連絡があつたところです。

村では国庫補助事業の要件の一つである福島県生活交通確保維持計画の変更手続きについて進めている状況です。

**問** 第2回の公共交通検討委員会の資料をみると磐梯東都バスから前年の12月に廃止の申し出があり、村では継続の協議を行つたが会社側の意思は固いと書いてあり、これを受け議会でも状況の確認のため東京へ行つたのだがそのあたり、どう考えるか。

### 答（総務企画課長）

村ではバス業者の継続が難

しいとの判断しておりました。そのため、村では村民の足を確保するため代替の方法を検討委員会にて検討していただいた経緯があります。その後3月定例会の一般質問で再度要望活動を行うべきというお話がありまして3月26日に村と議会の代表の方によります要望活動を行つたという経緯があります。

**問** 当初の予定では補助金なしでバスを買うつもりであつたのか。

### 答（総務企画課長）

3月6日の時点では村が購入するという事で、財源については有利な起債、過疎債を充てる予定でございました。

**問** 東都バスの社長の話では7月末頃には国の補助も確定すると聞いている。間に合わないのか。

### 答（村長）

間に合わない事のないように今進めております。東都バスの社長からは11月の運休はいったん停止するという事で約束いただいたいておりますので変更がない限りは運行可能という風に判断しております。

### 農業公社設立について

**問** 耕作放棄の未然防止、5年後、10年後を見据え、今年度は設立協議会を準備し、次年度には公社を設立し、運営を目指す予定となつているが、現在の進捗状況を伺う。

### 答（農林課長）

村では検討委員会を重ね、3月20日の検討委員会にて公社設立が必要であるという認識に立ちまして基本構想として取りまとめました。今年度は集落での座談会などで村農業の将来の在り方について話し合い、設立の理念や、取り組むべき事業について理解を深め、そういった段階を経て設立協議会を立ち上げ、来年度設立を目指す予定です。

**問** 検討委員会の資料の中で、大塩地区に関し、水稲は経営転換し園芸への転換とあるが、地区の人が見たらどう思うのか。

### 答（農林課長）

これは検討委員会の会議録から検討案として記載されたものと考えており、今後、将来的に管理が難しくなる農地

においては園芸作物への転換もあるのではないかと考えております。ですのでこの文章は会議の経過途中と理解いただければと思います。

**問** 現在、耕作放棄の未然防止に二ノ沢川からの水路整備を利用者でやっているが、60歳以上の者が大半で管理が難しくなる。そうなれば放棄地もどんどん増える。公社もしくは村の事業で扱うべきではないか。

### 答（村長）

単独の事業費でやらなければいけないため現場を見させていただきながら検討していきたいと考えています。



## 令和元年度 所管事務調査

令和元年7月9日から11日までの3日間、両常任委員会は所管事務調査を行い、富山県上市町および福井県池田町へ視察を行いました。

富山県上市町は富山県東部の山寄りに位置する町です。人口は20491人で、剣岳など北アルプスの山々を擁する町です。また、福井県池田町は、福井県のほぼ中央に位置し、人口は2557人で山間であり、こちらも本村と共通するところが多いことから調査を行いました。

それぞれの町の人口減少対策や、地域の課題に対しての取組を学び、大変意義のある調査となりました。



上市町の調査



小椋議長の挨拶

- 富山県上市町  
○調査内容
- (1) 移住定住対策について
    - ・ 移住定住の取り組み
    - ・ 空き家利活用と補助事業
  - (2) エコツーリズム対策について
    - ・ エコツーリズムの取り組み
    - ・ 現状と課題



調査を終えて



池田町の調査

- 福井県池田町  
○調査内容
- (1) 地域振興対策について
    - ・ 地域活性化対策
    - ・ 現状と課題
  - (2) リサイクル対策について
    - ・ リサイクル事業の取り組み
    - ・ 現状と課題

## 議会傍聴にお越しく下さい！

次回定例会は 9月6日 開会予定です。

村のこれからが見える議会傍聴  
にぜひ足をお運びください。

お問い合わせは議会事務局まで。

TEL : (23) 3263 FAX : (25) 7358  
HP アドレス : <http://www.vill.kitashiobara.fukushima.jp/gikai/>

## さくら・裏磐梯

### 運動会

さくら・裏磐梯の運動会は今年も幼・小・中・村民みんなで一生懸命がんばりました！



大人も全力!!  
(さくら)

みんなでやれば怖くない!  
(裏磐梯)

## 編集委員

委員長 伊藤敏英  
副委員長 若林幸子  
委員 遠藤祐一  
委員 池田睦宏  
委員 小椋真

## 『編集後記』

本格的な夏も近づき日に日に暑さも増してくる季節となりました。議会だよりも新たな体制でスタートしました。議会だよりは、住民の皆様にとりかかりと情報をお届け、より身近に感じていただけるように頑張っていきます。議会だよりをこれからもよろしくお願い申し上げます。

委員一同